

Sky Rising in Yusuhara

2. 日本で初めての釣り体験 (Fishing in Susaki City)

梶原学園 ALT : パトリック・ルイス

祝日だったスポーツの日、同僚の先生方と一緒に釣りに行ってきました。これが日本では最初の釣り体験だったのですが、初めて釣りをした記憶は遠い昔、もちろんアメリカでのことです。小さい頃は夏になると、シエラ・ネバダ山脈の東側のあちこちに点在する湖へと、父がよく釣りに連れて行ってくれたものでした。そこはアメリカを象徴する大山岳地帯で、自然とアウトドアを愛する人であれば何が何でも訪れるべき場所、と言ってもいいでしょう。いろいろな湖に父と何度も足を運びましたが、ニジマス、カワマス、そして時にはサクラメント・パーチ(*)を釣りました。あの頃のことを思い出すたび、父への感謝の気持ちでいっぱいになります。父は本職の漁師だったこともありましたが、いろいろと学べたのは幸運だったと思います。

さて、今回の日本での釣りですが、結論から言うとすばらしい1日になりました。早朝、須崎の棧橋から海上にある釣り堀へと出発した時、日の出の光が海にきらめいていて、とても美しい光景でした。故郷では太平洋を眺めるのはほとんどいつものことでしたから、同じ海を見たことで落ち着いた気持ちになれました。とはいえ、今回は文字通り、対岸から見る太平洋だったわけですが……。船から飛び降りて釣り堀に着くと、まるまる大きな白い猫が僕たちを出迎えてくれました。この大きさはおそらく、新鮮な魚を毎日食べられるという環境のたまものでしょう。釣り堀は朝から慌ただしく、僕たち以外の釣り客もたくさんいて、みんなリールを左右に動かしていました。

最初のあたりがあった時は、すごくドキドキしました。かかった魚は手強かったのですが、何とか巻き上げることができました。僕個人については、残りの時間は相当のんびりしたものでしたが、それでも十分に楽しめました。あたりがない時には、周囲の様子を眺めていたからです。急降下して魚を捕らえる鷹、海面からとびはねる魚の群れ、悠々と空を飛ぶアオサギ……。自然を堪能しました。僕のこの日の釣果はマダイ2匹だけでしたが、「学園組」として見れば、結構な数を釣り上げています。一緒に行った同僚の先生方は、僕よりずっと忙しかったのは間違いなく、その技術を遺憾なく発揮していました。釣りのことでは、僕としては学ぶところが本当にたくさんあったように思います。

改めて、とても楽しい体験でした。海上にある釣り堀に行ったのも初めてでしたし、日本流の釣りに挑戦できたのも面白かったです。今回、僕を誘ってくださってありがとうございました。また一緒に行けたら、と思っています！



次の食事の前に、釣り堀のほりでのんびりしている猫。ずいぶんと人なつこい猫でした。

*サクラメント・パーチ(Sacramento Perch) : カリフォルニアの固有種ですが、外来種の移植が原因で、現在その数が激減しています。

(日本語訳 : 町 ALT 森竹弘喜)